



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月15日

上場会社名 株式会社関通 上場取引所 東
コード番号 9326 URL <https://www.kantsu.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 達城 久裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 達城 利卓 TEL 06-6224-3361
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	8,680	11.3	271	△9.6	274	△0.5	193	5.8
2023年2月期第3四半期	7,802	-	299	-	276	-	182	-

（注）包括利益 2024年2月期第3四半期 193百万円（5.8%） 2023年2月期第3四半期 182百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	19.22	18.62
2023年2月期第3四半期	17.81	17.18

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	10,309	3,168	30.7
2023年2月期	9,471	3,259	34.4

（参考）自己資本 2024年2月期第3四半期 3,166百万円 2023年2月期 3,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2024年2月期	-	0.00	-		
2024年2月期（予想）				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,756	12.0	669	70.8	624	73.1	387	△38.3	37.37

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期3Q	10,308,150株	2023年2月期	10,308,150株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	291,093株	2023年2月期	93株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期3Q	10,069,857株	2023年2月期3Q	10,267,557株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2024年1月15日付で当社ホームページ（<https://www.kantsu.com/ir/>）に掲載の予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年11月30日まで）におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型インフルエンザ等感染症(2類相当)」から「5類」へと変更されたことも影響し、社会経済活動の正常化が進みました。景気は緩やかな回復基調となった一方、物価上昇及び世界的なインフレ拡大により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは一層の企業価値の向上を図るため、2023年4月14日付「中期経営計画のローリングに関するお知らせ」で公表しましたとおり、物流サービス事業、ITオートメーション事業それぞれの事業で、「お客様がやりたいことを実現できるサービスを提供する」ことを第一にサービスレベルの向上に取組み、また協力先及び仕入先とのパートナーシップを強化し、事業拡大につなげるとともに、当社グループの中長期的な企業成長に寄与いただける企業のM&Aを実行し、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が8,680,914千円（前年同四半期比11.3%増）、営業利益は271,186千円（前年同四半期比9.6%減）、経常利益は274,919千円（前年同四半期比0.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は193,524千円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業利益をベースとしております。

(物流サービス事業)

物流サービス事業におきましては、EC・通販物流支援サービスを中心に、引続き品質及び生産性向上のための改善活動に取組み、お客様満足度の一層の向上を推進しました。一方で、EC各社による10月以降の大型セール時には過去最高の売上高を記録されたお客様もあり、想定を超える増員対応が必要となったことにより人件費が大きく増加する結果となりました。

加えて、東京主管センターを中心とした家賃負担額の増加(年間800百万円)により、売上総利益率が低下する結果となりました。

この結果、物流サービス事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は8,145,483千円（前年同四半期比10.8%増）、セグメント利益は61,270千円（前年同四半期比63.6%減）となりました。

(ITオートメーション事業)

ITオートメーション事業におきましては、倉庫管理システム「クラウドトーマス」及び「クラウドトーマスPro」について、新規のお客様獲得は堅調に推移し利用料の向上を実現しました。

この結果、ITオートメーション事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は456,343千円（前年同四半期比24.7%増）、セグメント利益は210,957千円（前年同四半期比72.0%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業におきましては、障がい者のお子様向けの放課後等デイサービス及び障がい者の方向けの就労移行支援サービスが堅調に推移しました。

この結果、その他の事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は79,086千円（前年同四半期比5.7%減）、セグメント損失は1,041千円となりました。

[2023年2月期第3四半期 セグメント別経営成績]

(単位：千円，%)

セグメント区分	売上高			セグメント損益（営業損益）		
	実績	百分比	前年同期増減率	実績	売上高営業利益率	前年同期増減率
サービス区分						
EC・通販物流支援サービス	7,964,758	91.8	10.7	—		
受注管理業務代行サービス	128,520	1.5	43.9	—		
その他	52,204	0.6	△24.0	—		
物流サービス事業	8,145,483	93.8	10.8	61,270	0.8	△63.6
ITオートメーション事業	456,343	5.3	24.7	210,957	46.2	72.0
その他の事業	79,086	0.9	△5.7	△1,041	△1.3	—
セグメント合計	8,680,914	100.0	11.3	271,186	3.1	△9.6

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は10,309,622千円（前連結会計年度末比838,107千円の増加）、負債は7,141,313千円（前連結会計年度末比929,613千円の増加）、純資産は3,168,308千円（前連結会計年度末比91,505千円の減少）となりました。

主な増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,150,171千円（前連結会計年度末比4,093千円の減少）となりました。主な要因は、売掛金が288,331千円増加した一方で、現金及び預金が、有価証券及び投資有価証券、有形固定資産及び自己株式の取得、並びに法人税等の支払等により、786,029千円減少したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は5,159,450千円（前連結会計年度末比842,201千円の増加）となりました。主な要因は、投資有価証券が202,143千円増加したほか、物流センターの新設にともなう敷金の支出により敷金及び保証金が359,151千円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,260,304千円（前連結会計年度末比99,893千円の増加）となりました。主な要因は、未払法人税等が317,757千円減少したものの、買掛金が249,997千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が103,601千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は4,881,009千円（前連結会計年度末比829,720千円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金が837,165千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部の残高は3,168,308千円（前連結会計年度末比91,505千円の減少）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益193,524千円を計上した一方で、配当金の支払額が103,080千円あったことにより利益剰余金合計が90,444千円増加し、また自己株式が176,718千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期連結業績予想につきましては、2023年4月14日公表の「2023年2月期決算短信 [日本基準] (連結)」で開示いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

なお、当該資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,432,524	2,646,495
電子記録債権	277,472	266,647
売掛金	972,380	1,260,712
有価証券	—	300,000
商品	302	—
仕掛品	4,189	30,385
その他	473,321	652,025
貸倒引当金	△5,927	△6,094
流動資産合計	5,154,264	5,150,171
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,426,273	1,465,142
機械装置及び運搬具（純額）	162,131	167,932
土地	138,871	138,871
リース資産（純額）	240,332	225,478
建設仮勘定	114,429	124,879
その他（純額）	291,158	408,422
有形固定資産合計	2,373,198	2,530,726
無形固定資産		
ソフトウェア	259,651	273,812
その他	349	56,451
無形固定資産合計	260,001	330,264
投資その他の資産		
投資有価証券	—	202,143
長期貸付金	12,000	24,000
繰延税金資産	146,732	146,732
敷金及び保証金	1,089,583	1,448,735
その他	436,509	477,624
貸倒引当金	△776	△776
投資その他の資産合計	1,684,049	2,298,460
固定資産合計	4,317,249	5,159,450
資産合計	9,471,514	10,309,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	264,734	514,732
1年内返済予定の長期借入金	795,352	898,953
未払法人税等	318,381	624
賞与引当金	34,458	49,328
リース債務	26,922	27,859
事業構造改善引当金	321,967	213,276
その他	398,593	555,530
流動負債合計	2,160,410	2,260,304
固定負債		
長期借入金	3,228,071	4,065,236
資産除去債務	371,904	389,797
リース債務	221,035	203,661
事業構造改善引当金	9,000	9,000
その他	221,277	213,313
固定負債合計	4,051,288	4,881,009
負債合計	6,211,699	7,141,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	788,275	788,275
資本剰余金	774,275	769,043
利益剰余金	1,695,773	1,786,217
自己株式	△109	△176,828
株主資本合計	3,258,214	3,166,708
新株予約権	1,600	1,600
純資産合計	3,259,814	3,168,308
負債純資産合計	9,471,514	10,309,622

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	7,802,444	8,680,914
売上原価	6,758,537	7,598,396
売上総利益	1,043,907	1,082,517
販売費及び一般管理費	744,066	811,330
営業利益	299,840	271,186
営業外収益		
受取利息	293	17,193
受取地代家賃	2,047	617
助成金収入	12,574	7,362
物品売却益	4,063	5,247
その他	2,855	4,703
営業外収益合計	21,834	35,124
営業外費用		
支払利息	38,453	28,233
その他	7,056	3,157
営業外費用合計	45,510	31,390
経常利益	276,164	274,919
特別利益		
固定資産売却益	697	—
特別利益合計	697	—
特別損失		
固定資産除却損	257	349
倉庫移転費用	12,571	—
特別損失合計	12,828	349
税金等調整前四半期純利益	264,033	274,569
法人税等	81,175	81,045
四半期純利益	182,857	193,524
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,857	193,524

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	182,857	193,524
四半期包括利益	182,857	193,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	182,857	193,524
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	物流サービス 事業	ITオート メーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,352,732	365,827	7,718,560	83,884	7,802,444	—	7,802,444
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,352,732	365,827	7,718,560	83,884	7,802,444	—	7,802,444
セグメント利益	168,547	122,659	291,206	8,633	299,840	—	299,840

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス及びその他教育サービスを含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	物流サービス 事業	ITオート メーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,145,483	456,343	8,601,827	79,086	8,680,914	—	8,680,914
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,145,483	456,343	8,601,827	79,086	8,680,914	—	8,680,914
セグメント利益又は損 失(△)	61,270	210,957	272,227	△1,041	271,186	—	271,186

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス及びその他教育サービスを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が176,718千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が176,828千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、株式を追加取得したスパイスコード株式会社を持分法適用の範囲に含めておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(事業の譲受)

当社は、2023年11月15日開催の取締役会において河出興産株式会社より同社事業の一部を譲り受けることを決議し、同社と事業譲渡契約を締結いたしました。

また、同年12月1日に事業譲受の受け皿となる子会社である関通ネクストロジ株式会社を設立し、同年12月21日に当該事業譲渡契約に基づき事業を譲り受けました。

(1) 事業譲受の概要

①事業譲渡会社の名称及びその事業の内容

事業譲渡会社 : 河出興産株式会社

事業の内容 : 出版物の物流サービス事業、Eコマース事業者向けの物流サービス事業及びこれらに付帯する事業

②事業譲受の理由及び目的

当社グループがこれまで培ってきた物流ノウハウやITサービスの利用技術を、出版物流の分野に取り入れることで、河出興産が取り組んできた物流サービスの付加価値をより一層高めることができ、お客様へのサービスレベルの向上および継続的なサービス提供を実現し、当社グループの企業価値向上を目指すものです。また、本事案により当社グループのEC・通販物流支援サービスの更なる拡大とともに、新たな物流ノウハウを蓄積できるものと考えます。

(2) 取得原価の算定等に関する事項

①取得した事業の取得原価及びその対価

取得した事業の取得原価：取得価額（譲受価額）につきましては、事業譲渡契約書の守秘義務契約に基づき非開示としております。なお、公平性・妥当性を確保するため、第三者機関による適切な価額算定を実施し、金額の妥当性を検証しております。

取得の対価 : 全て現金

②主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料：3,800千円（概算）

(3) 取得原価の配分に関する事項

①事業譲受日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

②発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。